



兵庫県感染症発生動向調査週報(速報)

2025年第43週(10月20日～10月26日)

兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページにてご覧ください。<https://id-info.jihs.go.jp/>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

疾病名	定点あたり患者数		増減	疾病名	定点あたり患者数		増減		
	今週	先週			今週	先週			
インフルエンザ	5.85	2.66	+3.19	↗	手足口病	0.07	0.09	-0.02	↘
COVID-19	2.26	2.80	-0.54	↘	伝染性紅斑	0.89	0.94	-0.05	↘
急性呼吸器感染症	53.24	44.38	+8.86	↗	突発性発しん	0.31	0.27	+0.04	↗
RSウイルス感染症	1.30	1.50	-0.20	↘	ヘルパンギーナ	0.07	0.10	-0.03	↘
咽頭結膜熱	0.22	0.34	-0.12	↘	流行性耳下腺炎	0.01	0.03	-0.02	↘
A群溶血性レサ球菌咽頭炎	1.54	1.30	+0.24	↗	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	±0.00	→
感染性胃腸炎	3.68	3.50	+0.18	↗	流行性角結膜炎	0.69	0.37	+0.32	↗
水痘	0.20	0.07	+0.13	↗	※2025年4月7日(第15週)より、定点数が変更となりました。				

基幹定点の罹患者数: 無菌性髄膜炎 4人(0.29人)、マイコプラズマ肺炎 5人(0.36人)

※括弧内は定点あたりの患者数

※2025年4月7日から、急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ(急性呼吸器感染症(ARI))をご覧ください。<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou19/ari.html>

インフルエンザに関する情報

インフルエンザ

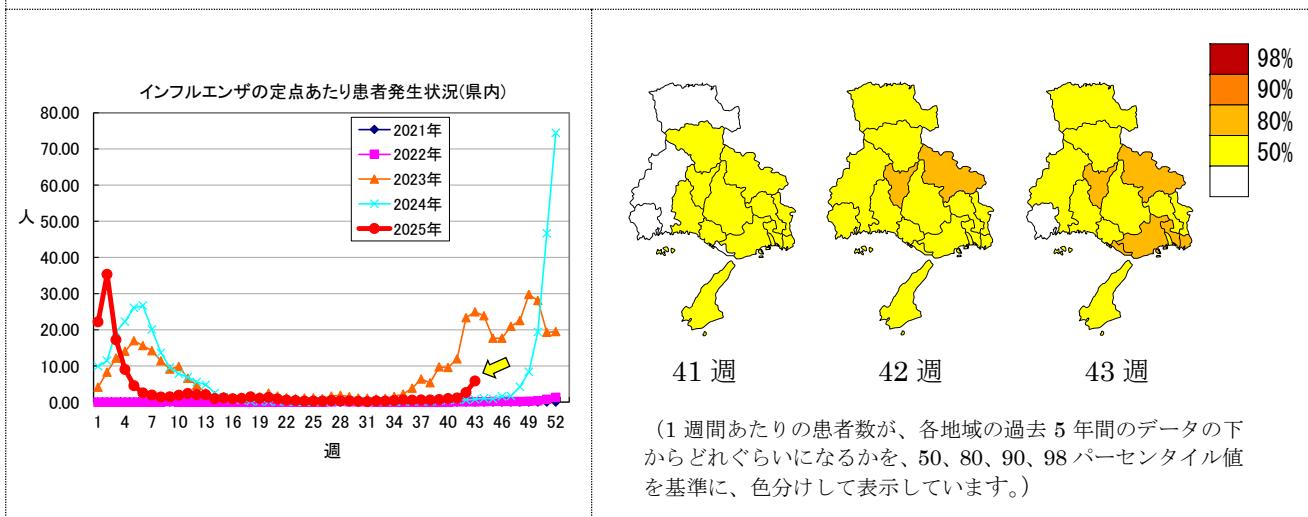
定点あたり患者数は、今週 **5.85人** (先週 2.66人) と増加しました。地域的には、福崎保健所管内で警報レベル基準値(開始基準値30.0人、終息基準値10.0人)、朝来保健所管内で注意報レベル基準値(定点あたり患者数10.0人)以上となっています。

直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者1,856人の年齢分布では、10～14歳が30%、5～9歳が29%で、15歳未満が全体の73%を占めています。

臨時休業の施設別発生状況では、今週63件(先週17件)の報告がありました。内訳は、学校閉鎖1件、学年閉鎖10件、学級閉鎖52件で、施設別では、幼稚園3件、小学校37件、中学校23件です。

社会福祉施設等においては、今週3件(先週1件)の集団発生が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に関する情報

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

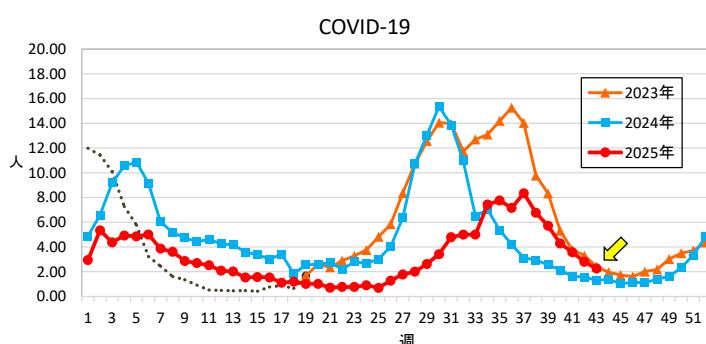
兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **2.26人**（先週 2.80人）と減少しました。

地域別では福崎保健所管内が 8.00 人と最も多く、赤穂保健所管内が 5.00 人、姫路市が 4.94 人となっており、年齢別では 10～19 歳が 28%、40～49 歳が 12%、50～59 歳が 10% となっています。

また、社会福祉施設等においては、今週 1 件（先週 2 件）の集団発生が報告されています。

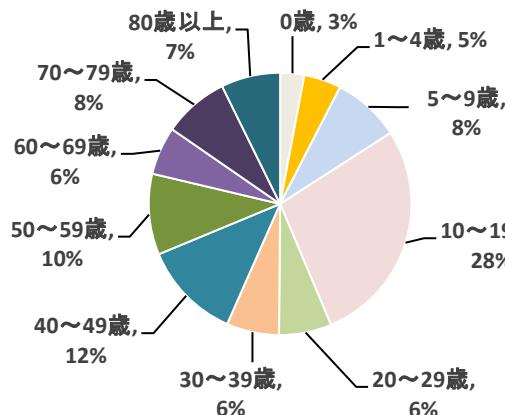
県民の皆様には引き続き 3 密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。

兵庫県内の定点当たり報告数推移



2023年18週以前の数値はHER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数（参考値）（国の提供データに基づく）

新規感染者の年齢階級別割合（第43週）



※2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

全数把握感染症

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 22人 （保健所：神戸市 12 人、尼崎市 2 人、姫路市 3 人、西宮市 1 人、明石市 1 人、伊丹管内 1 人、豊岡管内 1 人、朝来管内 1 人）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 6人 （①神戸市；有症者；男性 20 歳代；O157 VT2；感染地域：不明；感染経路：不明、②尼崎市；有症者；男性 1 歳；O157 VT1；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染、③尼崎市；有症者；男性 60 歳代；O157 VT1VT2；感染地域：不明；感染経路：経口感染、④姫路市；無症状病原体保有者；男性 20 歳代；O 不明 VT2；感染地域：不明；感染経路：不明、⑤姫路市；無症状病原体保有者；男性 20 歳代；O 不明 VT2；感染地域：不明；感染経路：不明、⑥姫路市；無症状病原体保有者；男性 20 歳代；O 不明 VT2；感染地域：不明；感染経路：不明）（累積報告数 133 人；有症者 79 人、HUS 5 人）
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 1人 （姫路市；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） 日本紅斑熱 1人 （神戸市；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） レジオネラ症 2人 （①神戸市；肺炎型；女性 80 歳代；感染地域：国内；感染経路：不明、②伊丹保健所管内；肺炎型；男性 50 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明） レプトスピラ症 2人 （①神戸市；男性 60 歳代；感染地域：国内；感染経路：水系感染、②姫路市；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染）
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 3人 （①神戸市；女性 50 歳代； <i>Citrobacter freundii</i> ；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌、②姫路市；女性 20 歳代； <i>Klebsiella oxytoca</i> ；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌・医療器具関連感染、③赤穂保健所管内；女性 90 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明） 侵襲性肺炎球菌感染症 1人 （西宮市；男性 90 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明）

水痘（入院例） 1人（加古川保健所管内；臨床診断例；女性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：不明）

梅毒 9人（①神戸市；早期顎症梅毒Ⅱ期；男性30歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顎症梅毒Ⅰ期；男性30歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③神戸市；早期顎症梅毒Ⅱ期；男性40歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、④神戸市；早期顎症梅毒Ⅰ期；男性50歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑤神戸市；無症状病原体保有者；女性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触、⑥西宮市；早期顎症梅毒Ⅰ期；男性20歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、⑦西宮市；早期顎症梅毒Ⅰ期；男性30歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑧西宮市；早期顎症梅毒Ⅱ期；女性60歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑨宝塚保健所管内；早期顎症梅毒Ⅰ期；男性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触）

百日咳 30人（保健所：神戸市11人、尼崎市2人、姫路市3人、明石市3人、伊丹管内4人、宝塚管内2人、加古川管内3人、加東管内1人、福崎管内1人；性別：男性14人、女性16人；年齢群：0歳1人（ワクチン接種歴：2回有）、1歳2人（ワクチン接種歴：3回有(1人)、不明(1人)）、2歳1人（ワクチン接種歴：3回有）、3歳1人（ワクチン接種歴：不明）、4歳2人（ワクチン接種歴：不明）、5～9歳6人（ワクチン接種歴：4回有(3人)、3回有(1人)、不明(2人)）、10～14歳8人（ワクチン接種歴：4回有(5人)、不明(3人)）、15～19歳2人（ワクチン接種歴：不明）、20歳代1人（ワクチン接種歴：不明）、30歳代2人（ワクチン接種歴：不明）、40歳代1人（ワクチン接種歴：不明）、60歳代2人（ワクチン接種歴：不明）、70歳以上1人（ワクチン接種歴：不明）（累積報告数3,290人、うち病原体遺伝子検出2,370人）

2025年42週までに診断されたものの報告遅れ

梅毒 2人
百日咳 2人

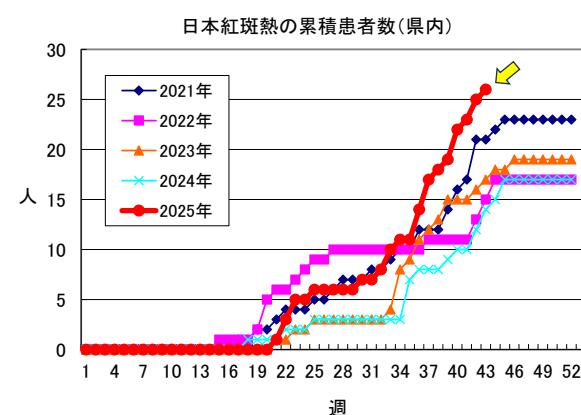
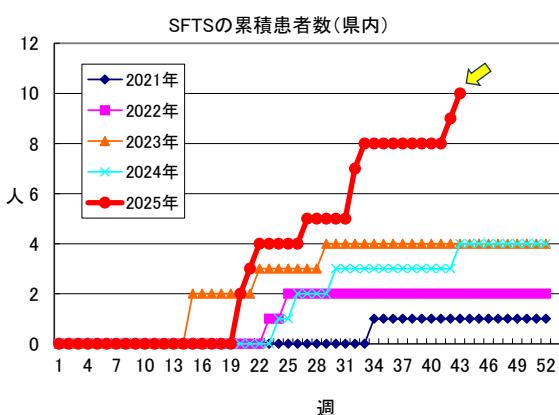
ダニ媒介感染症（重症熱性血小板減少症候群・日本紅斑熱）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告が今週は1人あり、今年の累計患者数は**10人**となりました。また、**日本紅斑熱**は今週**1人**、今年の累計患者数は**26人**となっています。

これらは主に病原体（ウイルスやリケッチャ）を保有するマダニに咬まれることで感染します。

SFTSはSFTSウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は6～14日で、治療薬はなく対症療法となっています。一方、日本紅斑熱はリケッチャ・ジャポニカを病原とし、主な症状は発熱、発疹、刺し口が赤く腫れ中心部がかさぶたになるのが特徴です。潜伏期間は2～8日で、治療にはテトラサイクリン系の抗菌薬等が投与されます。

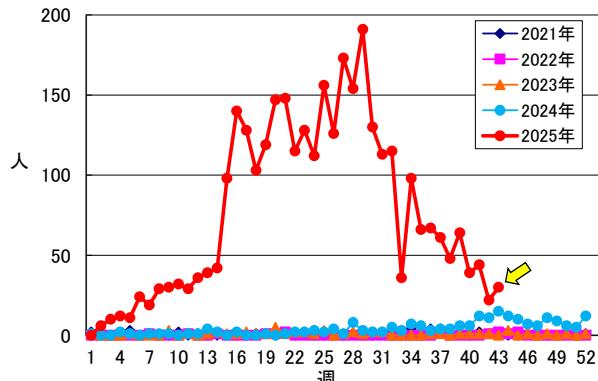
マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し替えるなどの予防対策が必要です。また、山野へ入った2週間以内に発熱や発疹が出た時はすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。



目で見る動向（県内）

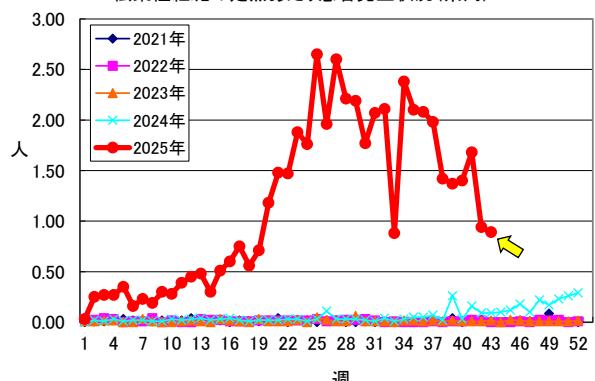
百日咳

百日咳の週別患者数（県内）



伝染性紅斑

伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



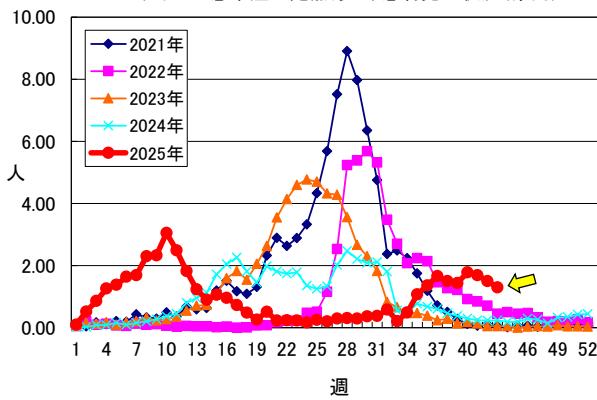
今週 **30** 人の報告があり、今年の累積患者数は 3,290 人となりました。

定点あたり患者数は今週 **0.89 人** (先週 0.94 人) と減少しました。

地域的には、神戸市、姫路市、明石市、加古川及び赤穂保健所管内で警報レベルとなっています。

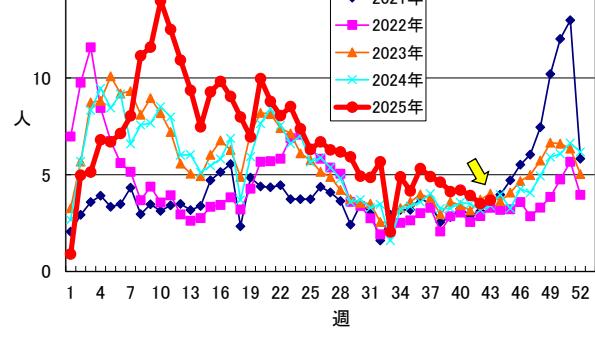
RS ウイルス感染症

RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況（県内）



定点あたり患者数は今週 **1.30 人** (先週 1.50 人) と減少しました。

感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況（県内）



定点あたり患者数は今週 **3.68 人** (先週 3.50 人) と増加しました。

社会福祉施設等においては、今週 1 件 (先週 0 件) の集団発生が報告されています。

この週報はホームページ (https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphhs01/kansensho_jyoho/infectdis.html) にも掲載しています。

2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <https://id-info.jihs.go.jp/> から国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトの週報 (IDWR) がダウンロードできます。